



CSR活動報告2011

お取引先の皆様とともに

コニカミノルタは、原料や部品などの資材を調達するお取引先を、“事業活動に不可欠なパートナー”と考え、透明、公正な取引を通じて信頼関係の構築に努めています。また、お取引先とのパートナーシップに基づく緊密な協働のもとに、サプライチェーン※における基本的人権の尊重、労働環境の改善などを行う「CSR調達」を推進。お取引先にCSR活動を要請するとともに、お取引先のCSR推進状況を把握し、改善要請および助言を行っています。

※ サプライチェーン：調達、生産、物流、販売を経て、お客様に製品やサービスが提供されるまでの一連の流れ

CSR調達の概念図



コニカミノルタ調達方針(抜粋)

- OPEN
- FAIR
- GLOBAL
- COMPLIANCE
- ECOLOGY

私たちコニカミノルタグループは、「新しい価値の創造」の経営理念のもと、社会の発展に寄与する革新的な製品・サービスを創出し、お客様の満足を追求します。調達活動においては透明・公正を基本としてお取引先と強いパートナーシップを築き、ともに社会的責任を果たすことにより、持続可能な社会の実現を目指します。

お取引先へのお願い

お取引先と強いパートナーシップのもと、お客様の満足を追求し、合わせて社会的責任を果たすため、お取引先の皆様には以下の項目への取り組みをお願いします。

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1. 優良な品質 | 4. 法令、企業倫理の遵守 | 7. 安全衛生 |
| 2. 適正価格 | 5. 環境保全への対応 | 8. 情報セキュリティ |
| 3. 需要変動への対応 | 6. 労働者の人権の尊重 | 9. 安定した経営基盤 |

主要な取り組みテーマと目標・計画・実績

自己評価 ☆☆☆:目標を上回る成果 ☆☆☆:ほぼ目標を達成 ☆:未達成

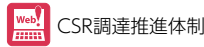
テーマ	2011年度目標・計画	2011年度実績	自己評価	2012年度計画
サプライチェーンにおけるCSRの推進	1) グループ生産拠点の診断：36拠点 2) お取引先の診断：585社 ※2009～2011年度の3カ年の計画	1) 36拠点 (100%) 2) 561社 (96%) ● 人権、労働、環境などへの取り組みに関する自己診断アンケートによる診断を継続して実施 ● 診断員資格基準の策定 WEB	☆☆	● 3カ年の診断結果の確認を行うとともに、一部、診断対象を拡大

Web コニカミノルタについて > CSR(社会・環境活動) > CSRの取り組み > お取引先の皆様とともに



サプライチェーンにおけるCSRの推進

サプライチェーンにわたって人権の尊重や労働環境の改善、環境への配慮などの社会的責任を果たす「CSR調達」が求められる中、コニカミノルタはお取引先のご協力のもと、グループ全体で取り組んでいます。



地球環境のために



3カ年計画で、グループ生産拠点およびお取引先へのCSR診断を実施

コニカミノルタは、調達活動全般についての理念とお取引先への要請を明記した「調達方針」に基づき、CSR調達の対象分野と基準を示した「行動規範^{*}」を策定するとともに、「自己診断アンケート^{*}」を使った診断法を構築しています。

自己診断アンケートを用いて、グループ生産拠点とお取引先を対象としたCSR推進状況の診断を、2009～2011年度の3カ年計画で実施しました。グループ生産拠点はランクA、お取引先はランクB以上を目標としています。

グループ生産拠点については、計画通り診断を終了し、主要36拠点すべてがランクAの診断結果でした。

お取引先については、可能な限り多くの企業にCSRへの取り組みを要請するとともに、取引額などから選定した主要取引先(取引額全体の9割以上を目標とする)に対して、アンケートによる診断を実施しました。具体的には、3カ年で計1,421社にCSRへの取り組みを要請し、うち585社にアンケートを要請、2011年度末時点で561社の診断が完了しました。目標未達であるランクCのお取引先17社に対しては、改善を要請しています。

2012年度は、3カ年の診断結果の検証を行うとともに、一部、対象を拡大して診断を実施する計画です。

^{*} 行動規範・自己診断アンケートは、EICC (Electronic Industry Citizenship Coalition) に準拠しています

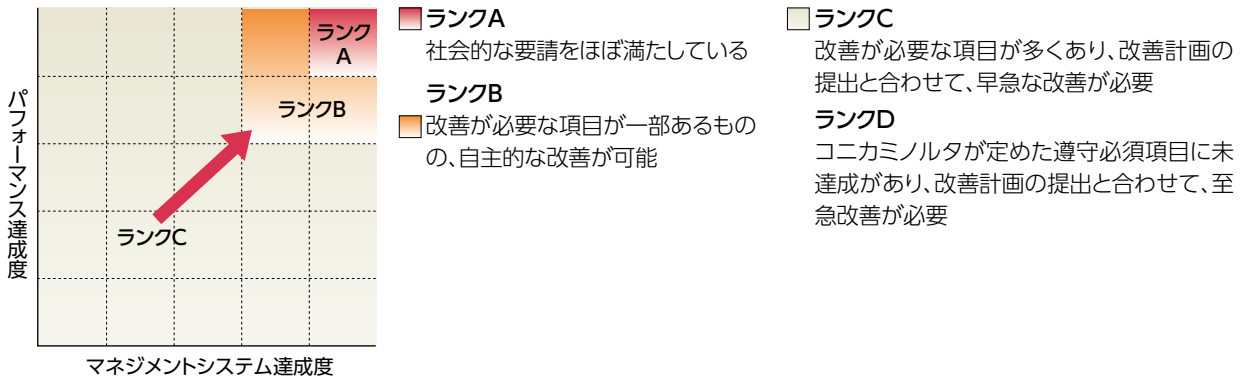
お客様のために



お取引先の皆様のために



達成度に応じたランク分け



「紛争鉱物問題」への基本的な考え方

コンゴ民主共和国およびその周辺国における紛争と、これに伴う重大な人権侵害、環境破壊が国際的に大きな問題となっています。

この地域におけるタンタル、タングステン、金、スズの鉱物資源採掘は、武装勢力の資金源となり、紛争を助長している可能性が懸念されています(以下「紛争鉱物」という)。

この国際的な問題を解決するため、2010年に米国金融規制改革法1502条が制定され、また経済協力開発機構(OECD)から「紛争鉱物デューディリ

ジェンス・ガイダンス」が発行され、企業にサプライチェーンでの責任ある取り組みが強く要請されています。

コニカミノルタはかねてより、調達活動において社会的責任を果たすために「法令、企業倫理の遵守」「労働者の人権の尊重」「環境保全への対応」などを含む調達方針を定め、サプライチェーン全体に亘る活動に取り組んでまいりました。

紛争鉱物への対応につきましても、この調達方針に基づき、適切に対応してまいります。

従業員とともに



社会に貢献していくために

